



資料編

資料1：全国の看護師、准看護師、保健師就業者数一覧

資料2：調査に使用した調査票

資料1：全国の看護師、准看護師、保健師就業者数一覧

看護師、准看護師就業者数(年次別、就業場所別)

(単位:人)

年次	区分	総数	保健所	市町村	病院	診療所	介護老人保健施設	訪問看護ステーション	社会福祉施設	介護老人福祉施設	居宅サービス等	事業所	看護師等学校養成所・研究機関	その他
10年		1,027,295	1,392	—	727,643	218,888	20,422	14,498	22,098	—	—	—	9,651	14,095
11年		1,065,837	1,736	—	740,381	237,277	20,868	18,015	24,356	—	—	—	10,089	14,851
12年		1,095,719	1,323	—	748,211	240,780	26,749	21,667	31,363	—	—	—	10,102	16,847
13年		1,116,281	1,444	—	756,278	247,580	28,756	25,195	34,017	—	—	—	10,693	13,762
14年		1,154,447	1,376	7,570	772,010	258,330	29,449	23,261	13,110	18,948	18,912	4,087	11,120	5,220
10年		612,112	1,207	—	487,799	72,051	7,236	12,289	10,602	—	—	—	9,651	9,901
11年		655,094	1,491	—	509,762	87,376	7,386	15,347	11,738	—	—	—	10,089	10,446
12年	看護師	679,955	1,134	—	524,578	87,493	10,328	18,575	14,852	—	—	—	10,102	11,706
13年		699,486	1,238	—	536,121	91,101	10,808	21,647	16,153	—	—	—	10,693	10,321
14年		740,375	1,185	5,589	555,014	104,452	11,428	20,187	7,072	7,785	9,840	2,987	11,089	3,747
10年		418,011	185	—	239,844	146,837	13,186	2,209	11,496	—	—	—	—	4,194
11年		413,996	245	—	230,619	149,901	13,482	2,668	12,618	—	—	—	—	4,405
12年	准看護師	418,352	189	—	223,633	153,287	16,421	3,092	16,511	—	—	—	—	5,141
13年		419,716	206	—	220,157	156,479	17,948	3,548	17,864	—	—	—	—	3,441
14年		423,018	191	1,981	216,996	153,878	18,021	3,074	6,038	11,163	9,072	1,100	31	1,473

(注) * 平成14年より就業場所の区分を新たに整理した。その結果、「市町村」、「介護老人福祉施設」、「居宅サービス等」、「事業所」が増加し、「社会福祉施設」、「その他」が減少した。

1. 「病院」については、「病院報告」により計上した。
2. 「診療所」については、「医療施設調査」(平成11、14年)及び推計(平成10、12、13年)により計上した。
3. 「病院」及び「診療所」以外については、「厚生省報告例(平成10年)」、「厚生省報告例(平成12、14年)」及び推計(平成11、13年)により計上した。

保健師就業者数(年次別、就業場所別)

年次	総数	保健所	市町村	病院	診療所	介護老人保健施設	訪問看護ステーション	社会福祉施設	介護老人福祉施設	居宅サービス等	専業所	看護師等学校養成所・研究機関	その他
10年	38,607	7,814	18,410	1,824	5,507	54	657	542	—	—	1,659	519	1,621
11年	40,113	8,194	18,556	1,868	6,238	72	758	589	—	—	1,686	507	1,645
12年	42,027	7,630	20,646	2,012	6,392	52	638	627	—	—	1,672	641	1,717
13年	43,295	7,537	21,406	2,108	6,681	61	720	673	—	—	1,722	649	1,738
14年	44,226	7,662	21,631	2,316	6,531	62	497	472	59	508	1,909	826	1,753

* 平成14年より就業場所の区分を新たに整理した。その結果、「介護老人福祉施設」、「居宅サービス等」が増加し、「社会福祉施設」が減少した。

- (注) 1. 「病院」については、「病院報告」により計上した。
 2. 「診療所」については、「医療施設調査」(平成11、14年)及び推計(平成10、12、13年)により計上した。
 3. 「病院」及び「診療所」以外については、「厚生省報告例(平成10年)」、「衛生行政報告例(平成12、14年)」及び推計(平成11、13年)により計上した。

助産師就業者数(年次別、就業場所別)

年次	総数	保健所	市町村	病院	診療所	助産所		産出強のみ		社会福祉施設	専業所	看護師等学校養成所・研究機関	その他
						開設者	従事者	計	計				
10年	24,177	257	—	16,944	3,263	805	166	1,107	2,078	17	—	559	1,059
11年	24,654	311	—	17,255	3,793	682	162	886	1,730	18	—	582	965
12年	24,985	249	—	17,584	3,668	802	150	906	1,858	30	—	638	958
13年	25,053	255	—	17,808	3,674	673	151	743	1,567	32	—	666	1,051
14年	25,877	222	480	17,798	4,465	730	195	780	1,705	11	11	960	225

* 平成14年より就業場所の区分を新たに整理した。その結果、「市町村」等が増加し、「その他」が減少した。

- (注) 1. 「病院」については、「病院報告」により計上した。
 2. 「診療所」については、「医療施設調査」(平成11、14年)及び推計(平成10、12、13年)により計上した。
 3. 「病院」及び「診療所」以外については、「厚生省報告例(平成10年)」、「衛生行政報告例(平成12、14年)」及び推計(平成11、13年)により計上した。

資料 2 : 調査に使用した調査票

保健師ID	調査管理者名
市町村コード	所属部署

保健師の連携活動に関する調査

この度、国立保健医療科学院におきまして、新しい時代にふさわしい「新たな市区町村における保健師像」を明らかにするための調査として、本調査を全国すべての市区町村に対して実施させていただくことになりました。できるだけ多くの保健師の皆様のご意見を伺いたいと考えております。

お忙しいところ、誠に申し訳ありませんが、どうか調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、調査票は、以下の事項をご確認後、返却いただきますようお願いいたします。

調査票の回収のお願い

記入済みの調査票は調査票の配布された調査管理者に、ご返却ください。

(※調査管理者がない場合は、同封の返信用の封筒にて調査票を返信してください)

また、調査管理者の皆様は、お手数ですが配布された調査票を回収し、全ての調査票の記入漏れを確認後、同封の返信用の封筒にて返信してください。

調査票の回収の締め切りは、1月31日(土)消印有効です。

大変お忙しいところ申し訳ありませんが、ご協力の程よろしくお願いいたします。

回収までの確認事項

No.	作業項目	チェック
1	調査票の確認	
2	調査1及び調査2に共通する注意事項の確認(p3~p4)	
3	調査票の記入	
4	調査票の最終確認(記入もれ等)	
5	調査票を調査責任者に提出 (※調査管理者がいらっしゃらない場合は、返信用封筒にて返信)	最終締め切り 1月31日 消印有効 (期限厳守)

調査事務局(質問受付など)

国立保健医療科学院 福祉サービス部 筒井孝子研究室

事務局 担当 栗田仁子 FAX:048-458-6715 /E-mail: kurita@nipngo.jp

問い合わせは、同封のFAXあるいは、E-mailでお願いいたします。

調査票の記入上の注意

☆調査票を記入する前にお読み下さい

本調査では、

連携を「保健業務を遂行する際、関係機関・他職種（専門職や行政職を含む）・住民（住民組織を含む）などと、連絡調整、交渉、折衝、依頼、協働など、相互にやりとりすること」とします。

調査に際しては、以下のような点について注意し、業務全般についてお答えいただけるようお願い申し上げます。なお

調査1については「全般的（一般的）な連携」

調査2については「印象に残った1事例に関する連携」

についてお聞きしております。

I 調査1及び調査2に共通する注意事項

連携に関する調査1の問5、6、および調査2の問5-1の回答の際は、保健師の業務において生じる、関連機関・専門職・住民との連携全般を考えてお答え下さい。たとえば、以下の連携活動を含みます。

① 個人と家族がより良い生活をしていくための連携

情報交換、情報収集、必要なサービスの共有化など

② 保健事業をより効果的に行うための連携

各種健診、健康教育などの事業内容の改善、専門職への依頼や協働、事後フォロー方法の調整を含む

③ 自治体の保健医療福祉施策を向上するための連携

他機関・行政機関内での話し合い、根回し、交渉などを含む

*また、現在の職務遂行に当たり（あなたに与えられた権限の範囲内で）設問の事項が処理できるか否かでお答え下さい。

II 調査票の用語の意味について

調査1問7の2の文中「サービス」とは、行政が実施するサービスだけでなく、当該住民が受けている事業、資源・制度、保健・介護及び福祉サービスなど全般を示しています。

調査1の問7の1,3~6,8,9,11~15、調査2の問4の1,3~6,8,9,11~15の「関連する他の機関」とは、以下の機関をいいます。

(1) 保健所・市町村保健センター	(2) 医療機関（診療所・病院など）
(3) 本庁（県庁、所属自治体中枢機関）	(4) 役所内の他の部署・住民組織
(5) 公民館	(6) 教育委員会
(7) 保育所・幼稚園	
(8) 学校（小・中・高・大）	(9) 児童相談所
(10) 福祉事務所	
(11) 社会福祉協議会	(12) 知的障害者福祉施設
(13) 警察署・消防署	(14) 検査機関
(15) 訪問看護ステーション	(16) 精神保健福祉センター
(17) 精神障害者社会復帰施設	(18) 在宅介護支援センター
(19) 居宅介護支援事業所	(20) 訪問介護事業所
(21) 介護老人保健施設・介護老人福祉施設	(22) 労働基準監督署
(23) 薬局	(24) 企業
(25) マスコミ	

調査1の問7の7、調査2の問4の7の「他の職種・専門職」とは、以下の職種をいいます。

(1) 医師・歯科医師	(2) 他機関の保健師（他部署も含む）
(3) 看護師・訪問看護師	(4) 助産師
(5) 薬剤師	
(6) 行政職（事務職）：（福祉・財政・企画・住民課・所属課内など）	
(7) 栄養士	(8) 歯科衛生士
(9) 臨床心理士（心理相談員）	
(10) 運動指導士	(11) 保育士
(12) 養護教諭・学校教諭	
(13) 民生委員（児童委員）	(14) 自治会
(15) 地区組織（保健推進員・食生活改善委員・消防団など）	
(16) 自主グループ	(17) ボランティア団体
(18) 一般地域住民	
(19) ホームヘルパー・介護福祉士	(20) ケアマネージャー
(21) 社会福祉士・ケースワーカー・MSW	(22) 精神保健福祉士
(23) 理学療法士・作業療法士	

Ⅲ 調査1 「一般的な連携活動に関する調査」の注意事項

☞1	「独自に新しい企画（事業）」とは、国が募集しているヘルスアップ事業、健康増進等事業、地域保健推進特別事業や、県単独・市町村単独事業などをいう。
☞2	平成14年度以降に、予算を獲得した事業名をお書き下さい。 国の予算に限らず、県単独事業や市町村単独事業でも結構です。
☞3	役所内の他の部署とは、児童課、福祉課、住民課、企画課、財政課、国民健康保険課、年金課、水道課、社会教育課など。
☞4	専門職等がどの機関に所属するかは問いません。総合的に捉えた時の専門職との連携についてご回答下さい。
☞5	例：社会福祉協議会からの貸付け。
☞6	住民・住民組織への協力も含む。 例：ボランティア組織への協力要請。
☞7	住民・住民組織からの協力依頼も含む。 例：老人クラブの健康相談・健康教育、福祉ケースワーカーから依頼された困難事例など。
☞8	行政職・住民組織などの集まりも含む。
☞9	困難事例の検討会、勉強会や研修会なども含む。

☞10	住民組織なども含む。
☞11	あなたが想定した自助グループの育成や困難事例（ケース）の問題解決のために、複数の機関の関係者を集めた話し合いを開催することができ、かつ、その際にかかる費用（会場代、菓子代の分担などを含む）を決定する権限をもっているかを尋ねる質問です。したがって、第1に、あなたが関係者を集めた話し合いを開催できること、第2に、その際の費用負担について、関係者が納得できるような決定をすることができるか否かを問うている質問です。
☞12	あなたが想定した自助グループの育成や困難事例（ケース）、保健・介護など事業の具体的な内容についての問題解決のために、複数の機関の関係者に対して、あなたが保健師として対象事例に行った専門的な対応について、すなわち、具体的にどのようなアプローチをしているかがわかるような内容を記録したものが作成され、それが伝達されているか否かを尋ねている項目です。 ここでは、口頭の伝達だけでなく、第1に、事例に対しての援助に関する資料の作成の有無、第2に、その資料を何らかの手段で伝達しているか否かを問うている質問です。
☞13	あなたが想定した自助グループの育成や困難事例（ケース）の問題解決のために、複数の機関の関係者や専門職から集めた情報を収集し、整理しているかを問う質問です。 これは、例えば、事例に対して、他の機関の関係者が何らかのアプローチをしようとする際に、あなたに情報提供が求められた場合、あなたが整理した情報を、その情報提供を求めた関係者に適切な情報を提供できているかを問うている質問です。

IV 調査2 印象に残った1事例に関する連携に関する注意事項

☞14	あなたが想定した事例（ケース）の問題解決のために、複数の機関の関係者を集めた話し合いを開催することができ、かつ、その際にかかる費用（会場代、菓子代の分担などを含む）を決定する権限をもっているかを尋ねる質問です。したがって、第1に、あなたが関係者を集めた話し合いを開催できること、第2に、その際の費用負担について、関係者が納得できるような決定をすることができるか否かを問うている質問です。
☞15	あなたが想定した事例（ケース）の問題解決のために、複数の機関の関係者に対して、あなたが保健師として対象事例に行った専門的な対応について、すなわち、具体的にどのようなアプローチをしているかがわかるような内容を記録したものが作成され、それが伝達されているか否かを尋ねている項目です。 ここでは、口頭の伝達だけでなく、第1に、事例に対しての援助に関する資料の作成の有無、第2に、その資料を何らかの手段で伝達しているか否かを問うている質問です。
☞16	あなたが想定した事例（ケース）の問題解決のために、複数の機関の関係者や専門職から集めた情報を収集し、整理しているかを問う質問です。 これは、例えば、事例に対して、他の機関の関係者が何らかのアプローチをしようとする際に、あなたに情報提供が求められた場合、あなたが整理した情報を、その情報提供を求めた関係者に適切な情報を提供できているかを問うている質問です。

調査 1 保健師の一般的な連携活動に関する調査

記入日をご記入下さい。

平成 15 年 _____ 月 _____ 日

問 1. あなたご自身のことについてお尋ねします。以下の質問にお答え下さい。該当する番号には○印を、下線部____には数字をご記入下さい。

(1) あなたの性別と年齢をご記入下さい。

1. 男	2. 女	_____ 歳 (平成 15 年 12 月 1 日現在)
------	------	------------------------------

(2) あなたの最終学歴の該当するものにひとつだけ○をつけて下さい。
(取得免許には関係なく、学歴として最も高いものをお選び下さい)

1. 高等学校卒業	2. 短期大学・専門学校卒業	3. 四年制大学卒業
4. 大学院修士課程修了	5. 大学院博士課程修了	6. その他(_____)

問 2 あなたの仕事についてお尋ねします。該当する番号には○印を、下線部____には、文字または数字をご記入下さい。

(1) あなたのこれまでの保健師としての総勤務歴と、現在の所属課での勤務歴をご記入下さい。
(平成 15 年 12 月現在)

保健師としての総勤務歴.....	_____ 年	_____ 月
保健師としての総勤務歴の内、現在の所属課での勤務歴.....	_____ 年	_____ 月

(2) あなたの現在所属している部署名と、現在の勤務形態について、該当するものに○をつけて下さい。

部 署 名	勤 務 形 態
	1. 常勤 2. 非常勤 3. 臨時職員 4. その他(_____)

(3) あなたの職場での役職に該当するものに○をつけて下さい。(本庁の職階でお答え下さい)

1. 一般 2. 主任 3. 主査 4. 係長 5. 課長補佐 6. 課長 7. その他(_____)

問 3-1. あなたが他の機関や他の職権の方々と連携する際の目的についてお尋ねします。あなたが、(業務の中で)連携する際の目的として最も多いものに○をつけて下さい。

1. 困難事例への対応のため	2. 保健事業の実施のため
3. 住民の組織化(自助グループづくりなど)	4. 新たな事業の予算獲得のため
5. その他(_____)	

問 3-2. 連携活動時間についてお尋ねします。あなたが連携活動をする時間として、最も該当する番号ひとつに○印をつけて下さい。

1. 勤務時間前	2. 勤務時間内	3. 勤務時間終了後	4. 土日祝日
5. その他(_____)			

問3-3. 連携活動を行う回数について、該当する番号に○印をつけて下さい。

1. ほぼ毎日	2. 週2～3回くらい	3. 月2～3回くらい	4. 年に数回程度
5. ほとんど連携していない			
6. その他()			

問4-1. あなたは、これまでに独自に新しい企画(事業)を提案した経験がありますか？☞ 1
「いいえ」と回答された方は、理由をお書き下さい。

1. はい
2. いいえ (例:今の事業で忙しいから。)
(理由 _____)

問4-2. あなたは、これまでに事業などの予算書を書いた経験がありますか？
「いいえ」と回答された方は、理由をお書き下さい。

1. はい
2. いいえ (例:事務職の仕事だから。)
(理由 _____)

問4-3. あなたは、自らが企画した事業のために新たな予算をとって、自分で新規事業をはじめた経験がありますか？

「はい」と回答された方は、その際どのような部署や人々と協力したかをお書き下さい。
「いいえ」と回答された方は、理由をお書き下さい。

1. はい (例:政策企画課の事務職と協力した。)
(_____)
2. いいえ
(理由 _____)

問4-4. 上の設問で、「はい」と回答された方にお伺いします。☞ 2

あなたが平成14年度以降に新たに予算を獲得して、実施された事業名とその予算額をすべてお書き下さい。

	事業名	実施年度	予算額(単位、万)
例	〇町健康向上事業	平成14年度	100(万円)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
合計金額			(万円)

問 5. 業務に際して、他の機関との連携の有無とその状況(あなたの役に立っているかどうか)についてお尋ねします。以下のそれぞれの機関について、最も該当すると思われる回答欄の番号ひとつに○印をつけて下さい。

1. 連携していない 2. 連携しているが、まったく役に立たない 3. 連携していて、いくぶん役に立っている
4. 連携していて、ほぼ役に立っている 5. 連携していて、とても役に立っている



1. 保健所・市町村保健センター	1	2	3	4	5
2. 医療機関 (診療所・病院など)	1	2	3	4	5
3. 本庁 (県庁、所属自治体中枢機関)	1	2	3	4	5
4. 役所内の他の部署・住民組織 <input checked="" type="checkbox"/> 3	1	2	3	4	5
5. 公民館	1	2	3	4	5
6. 教育委員会	1	2	3	4	5
7. 保育所・幼稚園	1	2	3	4	5
8. 学校 (小・中・高・大)	1	2	3	4	5
9. 児童相談所	1	2	3	4	5
10. 福祉事務所	1	2	3	4	5
11. 社会福祉協議会	1	2	3	4	5
12. 知的障害者福祉施設	1	2	3	4	5
13. 警察署・消防署	1	2	3	4	5
14. 検査機関	1	2	3	4	5
15. 訪問看護ステーション	1	2	3	4	5
16. 精神保健福祉センター	1	2	3	4	5
17. 精神障害者社会復帰施設	1	2	3	4	5
18. 在宅介護支援センター	1	2	3	4	5
19. 居宅介護支援事業所	1	2	3	4	5
20. 訪問介護事業所	1	2	3	4	5
21. 介護老人保健施設・介護老人福祉施設	1	2	3	4	5
22. 労働基準監督署	1	2	3	4	5
23. 薬局	1	2	3	4	5
24. 企業	1	2	3	4	5
25. マスコミ	1	2	3	4	5
26-1. その他 ()	1	2	3	4	5
26-2. その他 ()	1	2	3	4	5
26-3. その他 ()	1	2	3	4	5
26-4. その他 ()	1	2	3	4	5

※連携している機関が回答欄の項目にない場合は「26. その他」にお書き下さい。また、あなたが所属している機関の欄は空欄で構いません

問6. 専門職等との連携の有無とその状況(あなたの役に立っているかどうか)についてお尋ねします。④ 4
 以下のそれぞれの専門職等について、最も該当する回答欄の番号ひとつに○印をつけて下さい。

1. 連携していない 2. 連携しているが、まったく役に立たない 3. 連携していて、いくぶん役に立っている
 4. 連携していて、ほぼ役に立っている 5. 連携していて、とても役に立っている



1. 医師・歯科医師	1	2	3	4	5
2. 他機関の保健師(他部署も含む)	1	2	3	4	5
3. 看護師・訪問看護師	1	2	3	4	5
4. 助産師	1	2	3	4	5
5. 薬剤師	1	2	3	4	5
6. 行政職(事務職、福祉・財政・企画・住民課など)	1	2	3	4	5
7. 栄養士	1	2	3	4	5
8. 歯科衛生士	1	2	3	4	5
9. 臨床心理士(心理相談員)	1	2	3	4	5
10. 運動指導士	1	2	3	4	5
11. 保育士	1	2	3	4	5
12. 養護教諭・学校教諭	1	2	3	4	5
13. 民生委員(児童委員)	1	2	3	4	5
14. 自治会	1	2	3	4	5
15. 地区組織(保健推進員・食生活改善委員・消防団など)	1	2	3	4	5
16. 自主グループ	1	2	3	4	5
17. ボランティア団体	1	2	3	4	5
18. 一般地域住民	1	2	3	4	5
19. ホームヘルパー・介護福祉士	1	2	3	4	5
20. ケアマネージャー	1	2	3	4	5
21. 社会福祉士・ケースワーカー・MSW	1	2	3	4	5
22. 精神保健福祉士	1	2	3	4	5
23. 理学療法士・作業療法士	1	2	3	4	5
24-1. その他()	1	2	3	4	5
24-2. その他()	1	2	3	4	5
24-3. その他()	1	2	3	4	5
24-4. その他()	1	2	3	4	5

※連携している専門職等が回答欄の項目にない場合は、「24. その他」にお書き下さい。

問7. 皆さんの一般的な保健師活動についてお伺いします。以下のそれぞれの項目について、最も該当する番号をひとつ選んで○で囲んで下さい。

*以下の質問の回答に際しては、必ずP1～P3の記入の手引きを参照下さい。

1	あなたは、住民・利用者に対して保健事業や援助活動をしたとき、進行状況や結果を、関連する他の機関に報告していますか	1. まったく報告しない 3. 必要に応じて報告する	2. あまり報告しない 4. いつも報告する
2	あなたは、住民・利用者が、どんな制度や資源やサービスを利用しているか、把握していますか <input checked="" type="checkbox"/> 5	1. まったく把握していない 3. ある程度把握している	2. あまり把握していない 4. 大変よく把握している
3	あなたは、保健事業の実施やサービス提供に必要な知識や情報を、関連する他の機関(住民組織を含む)から集めていますか	1. まったく集めていない 3. だいたい集めている	2. あまり集めていない 4. よく集めている
4	あなたは住民の相談内容や問題状況を基礎に関係する他部門や、関連する他の機関に対して必要とされる行政サービスやインフォーマルなサービス、事業、資源・制度、保健・介護および福祉サービスの内容を文章化し、提案していますか	1. まったくしていない 3. ある程度している	2. あまりしていない 4. よくしている
5	あなたは、関連する他の機関(住民組織を含む)に協力を要請しますか <input checked="" type="checkbox"/> 6	1. まったくしていない 3. ある程度している	2. あまりしていない 4. よくしている
6	あなたは、関連する他の機関(住民組織を含む)から協力を要請されますか <input checked="" type="checkbox"/> 7	1. まったくされない 3. よくされる	2. あまりされない 4. 大変よくされる
7	あなたは、ご自分と関連する専門職の集まりだけではなく、他の職種・専門職の集まり(会議)にも参加していますか <input checked="" type="checkbox"/> 8	1. まったく参加しない 3. かなり多くの集まりに参加する	2. あまり参加しない 4. 全て参加する
8	あなたは、関連する他の機関(住民組織を含む)から、その機関の業務や実態に関する内容を聞いていますか	1. まったく聞いていない 3. よく聞いている	2. あまり聞いていない 4. すべて聞いている
9	あなたは、関連する他の機関(住民組織を含む)にどのような専門職がいるか、把握していますか	1. まったく把握していない 3. ある程度把握している	2. あまり把握していない 4. 大変よく把握している
10	あなたは、事例検討会などの説明会への参加を、同僚に呼び掛けますか <input checked="" type="checkbox"/> 9	1. まったく勧めない 3. ある程度勧める	2. あまり勧めない 4. 積極的に勧める
11	あなたは、関連する他の機関(住民組織を含む)や他の職種との親睦会に参加しますか <input checked="" type="checkbox"/> 10	1. まったく参加しない 3. よく参加する	2. あまり参加しない 4. すべて参加している
12	あなたの機関では、新規の保健師が就任した場合、関連する他の機関(住民組織を含む)に挨拶回りをしますか	1. まったく回らない 3. だいたい回る	2. あまり回らない 4. いつも回る
13	あなたは、複数の関連する他の機関(住民組織を含む)が参加する会議などにおいて、自分の判断で一定の費用負担を決定していますか <input checked="" type="checkbox"/> 11	1. まったくしない 3. だいたい決定している	2. あまりしない 4. いつもする
14	あなたは、自分の業務内容について、関連する他の機関(住民組織を含む)に資料、情報を伝達していますか <input checked="" type="checkbox"/> 12	1. まったくしない 3. だいたいしている	2. あまりしていない 4. すべてしている
15	あなたは、複数の関連する他の機関(住民組織を含む)・専門職で集めた利用者の情報を、管理していますか <input checked="" type="checkbox"/> 13	1. まったく管理していない 3. だいたい管理している	2. あまり管理していない 4. すべて管理している

質問 8-1. 業務上で、あなたは日常的に、以下の出来事をどれくらい体験しますか。
 また、あなたは、その出来事についてどの程度負担に感じますか。
 それぞれひとつずつ最も該当すると思われる番号を○で囲んで下さい。

業務内容	頻度	負担の程度
1. 急いで、仕上げなければならない業務	1.ない 2.時々 3.いつも	1.まったくない 2.少し 3.かなり
2. その日のうちにはとても終りきらない業務	1.ない 2.時々 3.いつも	1.まったくない 2.少し 3.かなり
3. 一度に、たくさんの種類が重なった業務	1.ない 2.時々 3.いつも	1.まったくない 2.少し 3.かなり
4. 意にそぐわない業務	1.ない 2.時々 3.いつも	1.まったくない 2.少し 3.かなり
5. 自分に権限がない業務	1.ない 2.時々 3.いつも	1.まったくない 2.少し 3.かなり
6. 難しすぎて手に負えない業務	1.ない 2.時々 3.いつも	1.まったくない 2.少し 3.かなり
7. 関係する法律・制度がはっきりわからない業務	1.ない 2.時々 3.いつも	1.まったくない 2.少し 3.かなり
8. 自分だけでは処理しきれない業務	1.ない 2.時々 3.いつも	1.まったくない 2.少し 3.かなり
9. 非協力的な職員と一緒にする業務	1.ない 2.時々 3.いつも	1.まったくない 2.少し 3.かなり
10. 情報が得にくい業務	1.ない 2.時々 3.いつも	1.まったくない 2.少し 3.かなり
11. 人員配置数が不十分な業務	1.ない 2.時々 3.いつも	1.まったくない 2.少し 3.かなり
12. 新しい知識や技術の習得が必要な業務	1.ない 2.時々 3.いつも	1.まったくない 2.少し 3.かなり

問 8-2. あなたは、自分の仕事のどのようなところを評価して欲しいと思いますか？
 ご自由にお書き下さい。

例: ①看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。

②地域を見る観点から、統計処理はもちろん住民の声を大切にしていること。

質問 9. ここ数週間のあなたの生活についておたずねします。以下の質問それぞれについて、ひとつずつ最も該当すると思われる回答欄の番号ひとつに○印をつけて下さい。

1	何かをする時にいつもより集中して	1. できた	2. いつもと変わらなかった	3. いつもよりできなかつた	4. まったくできなかつた
2	心配事があって、よく眠れないことは	1. まったくなかつた	2. あまりなかつた	3. あつた	4. たびたびあつた
3	いつもより自分のしていることに生きがいを感じることは	1. あつた	2. いつもと変わらなかった	3. なかつた	4. まったくなかつた
4	いつもより容易に物事を決めることが	1. できた	2. いつもと変わらなかった	3. いつもよりできなかつた	4. まったくできなかつた
5	いつもストレスを感じたことが	1. まったくなかつた	2. あまりなかつた	3. あつた	4. たびたびあつた
6	問題を解決できなくて困ったことが	1. まったくなかつた	2. あまりなかつた	3. あつた	4. たびたびあつた
7	いつもより問題があつた時に積極的に解決しようとするのが	1. できた	2. いつもと変わらなかった	3. できなかつた	4. まったくできなかつた
8	いつもより気が重くて、憂うつになることは	1. まったくなかつた	2. いつもと変わらなかった	3. あつた	4. たびたびあつた
9	自信を失つたことは	1. まったくなかつた	2. あまりなかつた	3. あつた	4. たびたびあつた
10	自分は役に立たない人間だと考えたことは	1. まったくなかつた	2. あまりなかつた	3. あつた	4. たびたびあつた
11	一般的にみて、いつもよりしあわせと感じたことは	1. まったくなかつた	2. あまりなかつた	3. あつた	4. たびたびあつた
12	ノイローゼ気味で何もすることができないと考えたことは	1. まったくなかつた	2. あまりなかつた	3. あつた	4. たびたびあつた

問 10. あなたが自分の仕事に不満を持つのは、どのような時ですか？
(普段から持っている不満でも構いません)ご自由にお書き下さい。